



しっかりと情報収集を!

崎本 広美 議員

高齢者福祉



質問(議員) 高齢者世帯が「貧困」状態にならないような対応策をしているのか。

答弁(町長) 職員の訪問、民生委員や地域の方々との連携により状況の把握に努めており、状況に応じた支援を行っている。

質問(議員) 超高齢化社会での介護問題は多様化しているが、現状でどのように対応しているのか。

答弁(町長) 地域包括支援センターが中心となり、関係部署や警察、かかりつけ医、介護事業所、地域の方々などと協力し、問題を抱えた高齢者の早期発見に努め、家庭の状況に応じた介護サービスなどの支援を行っている。引き続き高齢者を支える地域づくりに取り組む。

富永 やよい 議員

赤ちゃんの睡眠



質問(議員) WHOが推奨する月齢ごとの乳幼児の昼寝も含めた1日の合計睡眠時間、機嫌よく起きている活動時間、自力で一人で寝付くスキルを身につける「ねんねトレーニング」など、赤ちゃんの睡眠に関する情報を出産前に紹介しては。

答弁(町長) パパママ教室や相談支援などで適宜紹介していく。

質問(議員) 府中市が行政と市民の双方でやり取りできる公式アプリの運用を始めた。海田町も運用を始めて、町民の利便性を向上させては。

答弁(町長) 様々な手法を検証し、効果的な情報発信を検討する。



手厚い寝かしつけなしで1人で眠れるよ

Q ねんねトレーニングを紹介しては

A 適宜紹介していく



氾濫した場合には必要です

西田 誠一 議員

防災備品



質問(議員) 近年頻発する想定外の自然災害に対して、垂直避難者の救助や物資運搬用に、冠水想定地域を考慮し災害対策用ボートの整備をしては。

答弁(町長) 現在、浸水害対策用のボートの整備などは行っていないが、近年、地震災害をはじめ、台風・豪雨などによる水害や土砂災害など、大規模な自然災害に見

舞われることが多くなっている。本町で発災の可能性が高い浸水災害対策として、消防団が活用するボートの整備について検討している。

Q 災害対策用のボート整備を

A 検討中である

久留島 元生 議員

交通事故防止



質問(議員) 県道や町道について横断歩道をカラー舗装にして、車のスピードを抑制するハンプを設置してはどうか。

答弁(町長) ハンプ設置については、車両の速度を抑制する効果はあるが、車両事故や渋滞を誘発する原因となる可能性がある。ハンプによる安全対策を実施した他市町の事例を参考に調査研究する。

質問(議員) 道路の危険箇所横断歩道を追加してはどうか。

答弁(町長) 地域の関係者の意見を踏まえ、警察に要望する。

質問(議員) 町道2号線の上市橋と中店橋区間の一方通行はいつ頃解除するのか。

答弁(町長) 中店第一踏切付近の渋滞対策として規制された経緯があり、解除は困難と考えている。



横断歩道が欲しいねー